

平成25年度 地元報告会質疑応答【要旨】

日時：平成26年3月29日（土）17:00～18:20

場所：多摩ニュータウン環境組合 リサイクルセンター 多目的室1・2

質問1 平成26年度はごみ搬入量が減るという説明であったが、稼働率が上がっているのは何故か。(H25;61.1%⇒H26;61.8%)

回答1 平成25年度との差は0.7%ですので、ほとんど変わらないと考えてます。

意見1 数万トンに対する0.7%なので、量としては多いと考える。

質問2 安定稼働必要量という考えをしているが、地域住民としては持込まれるごみは少ないほうが良い。必要量だから他地域より持ってくるということではなく、できるだけ少ない処理をお願いしたい。

回答2 安定稼働については、経営的に有利ということではなく、焼却炉の立上げ、立下げ等に伴う環境負荷の低減や焼却炉に対する負担軽減による延命化、総合福祉センターへの余熱供給等のために必要となるため、安定稼働のためのごみ量を意識しなければなりません。

意見2 そういうことが必要なのは承知の上で、できるだけ少ないごみにして貰いたい。

質問3 弁護士報酬請求事件が終結したとあるが、争っていた弁護士報酬はいくらなのか。

回答3 損害金（入札談合事件に伴う住民訴訟の弁護士報酬分）5,500万円とそれに対する遅延損害金として770万円、合計6,270万円がプラントメーカー日立造船(株)より支払われ裁判が決着しました。

質問4 これで談合事件はすべて終了したということによいのか。

回答4 終了しました。今後は、入札談合による損害金などを施行者（国、東京都、UR、構成3市）等への返還など調整を行っていくことになります。

質問 5 ごみ搬入量の推移（スライド 5）では、構成市のごみ搬入量が減少しており約 5 万トンとなっている。清掃工場へのごみ搬入量（スライド 6）では合計量が 6 万 1 千トンとなっているのは何故か。

回答 5 スライド 5 では、従来区域のごみ搬入量を表しているものです。また、平成 25 年度については 2 月末のデーターとしているものです。

質問 6 了解した。
ただ、昨年と稼働率が変わらないという説明をしている中で、平成 25 年度のグラフが少ない表現をしているのはいかがなものかと思う。あと、町田市からのごみの搬入は処理区域内の搬入はあったが、応援ごみについては、不燃ごみだけであったということによいか。

回答 6 平成 25 年度は、町田市から応援での可燃ごみ受入れはありません。

質問 7 今後、町田市からの応援はあるのか。

回答 7 清掃工場の工事等により応援を行う可能性はあります。

質問 8 町田市のホームページで公表されているのが、資源循環型施設整備基本計画の中で環境組合に年間 1 万 1 千トン搬入されるとある。
今後、数字が変わってくるのか。

回答 8 先程説明したとおり、拡大区域について現在、時期・場所・量等を検討しています。平成 22 年度に、八王子市の拡大を受入れる際に、当時の説明会の中で、工場の安定稼働のためにも将来的に町田市の区域の拡大についてお話しさせて頂いたところですが、ただ、当時は時期や量が未定であったため、町田市の計画が整い次第、協議を行っていくということになっていました。現在、町田市から 1 万 1 千トンについて相談を受けており、構成市を交え検討しているところであり、5 月中を目途に内部調整をしたいと考えていますので、地域の方々にはそれらを含め決定をされる前に説明をさせて頂きたいと考えます。町田市の 1 万 1 千トンについては、調整段階の数字と考えています。町田市からは平成 32 年から 1 万 1 千トンというように相談を受けている段階です。

- 質問 9 確定でない数字が、ホームページに載ってしまうものなのか。
- 回答 9 町田市 of 区域を受け入れるには、環境組合の処理区域等の規約変更が必要となります。そのためには、構成市の議会での議決を頂いた上で、東京都に届出る必要がございますので、試算の数字ではあると考えています。
- 質問 10 処理区域というのは、工場建設時は、ニュータウン区域と決まっていると思うが、地元住民としては出来ればそのままの当初の約束とおりの区域で行ってもらいたい。稼働率が下がっているとの説明でしたが、稼働率が下がったからといって外からごみをもってくるのは、当初の計画と違うことだと思う。
- 八王子市の拡大の時は、八王子市の清掃工場の建替えが終わるまでは、地元が了解しているものであったと思う。ごみ処理の影響を一番受ける子供のことを考えるとむやみに処理量を増やすなどはしてほしくない。
- また、延命化と説明があったが、費用などはいくらかかるのか。
- 回答 10 延命化工事については、3億5千万円を予定している。
- 質問 11 3億5千万円かければ、この工場は延命化するのか。
- 回答 11 予定している3ヶ年の工事の金額です。その先については、長期修繕計画と対応しながら行っていく。老朽度合などを鑑みて行っていくので、10年間で約35億円程度となる見込みである。現施設の建設に275億円程かかっているのので、同規模ものをつくると同程度コストが必要になると思われる。
- 質問 12 稼働率云々とか、それだけコストがかかることとか、また環境への響を考えた場合、小規模化はすることとか考えていないのか。
- 回答 12 20年程先のことではあるのではっきりとした規模は決まってはいませんが、建替えの際には小規模化されると推測はします。
- 意見 3 稼働率が下がるからと言って、安易にごみを持ち込んでほしくないと考えから質問をさせてもらいました。ありがとうございます。

- 質問 13 放射能調査に関係するが、現在でも東日本大震災に伴う災害廃棄物の受け入れを行っているのか。また、敷地境界の空間放射線量率の0.1という数字が高いと感じるが、23区などと比べてどうなのか。工場からの排ガスが拡散された着地点での測定結果はどうなっているのか。
- 回答 13 平成24年度に宮城県女川町から災害廃棄物受け入れていたが、25年度は行っていません。福島県からの搬入はありません。空間放射線量率については、23区との差異はありません。ダイオキシン類と同じ拡散シミュレーションを行っており、影響の高いと思われる4地点（1kmほど離れている）で毎月測定しており、ホームページなどで公表しています。数値は敷地境界など変わらず、空間放射線量率は国で定める基準で $0.19\mu\text{Sv/h}$ 程度となっており、自然界などからも放射線が出ていることから、工場周辺の数値が高いということはありません。
- 質問 14 町田市の拡大区域についての検討について、現在はどのような状況なのか。
- 回答 14 現在、環境組合と構成市間で、今後について「あり方ワーキング」というものを立上げております。その中で、検討課題の一つとして町田市の拡大について扱っており、この中で検討を行っていくが、地元の方々には案が決まる前の5月中頃に説明する機会を設けたいと考えています。それと並行して、構成市間との話し合いを進めてまいります。
- 質問 15 町田市の建替え計画は、多摩清掃工場に1万1千トンを持ってくる事を前提の計画になっているのではないかと。
- 回答 15 平成32年完成予定の町田市の新しい工場はごみの40%減量化と環境組合の搬入区域拡大を基にして施設規模を算定している。
- 質問 16 規約の変更の際に、構成市のうち2市賛成、1市反対といった場合どうなるのか。最終調整はどこでとるのか。
- 回答 16 正副管理者に案を了承していただき、環境組合の議会で承認を求めてまいります。その後に各構成市の議会となると思われます。

- 質問 17 現在の搬入割合は、八王子市 46%、町田市 2%多摩市 52%ということだが、区域を拡大すると、多摩市と町田市+八王子市の割合が逆転すると思うのだが。
- 回答 17 現在、多摩市が 32,000 トン、八王子市が従来区域 16,000 トンと拡大区域 12,000 トン、町田市が 900 トンとなっており、町田市が増えることにより他市の割合はさがることとなります。
- 質問 18 多摩市に工場がある以上、多摩市のごみが 50%の割合を下回るのはどうなのか。
- 回答 18 多摩ニュータウンを作る際に、迷惑施設の分担ということで、多摩市に清掃工場、八王子市に墓地、町田市に葬祭場を作ることになっている経緯もあります。安定稼働による温水の供給や環境負荷の低減、構成市の相互協力のためにも拡大区域ということでやっていきたいと考えています。
- 質問 19 説明会を実施するという事なので、是非案が決まる前に行ってほしい。決まってからの説明では反対したところでそのままいってしまふのが現実だと思うので、地元への説明は案の段階でお願いしたい。
- 回答 19 八王子市の拡大区域の際に、案が決まってから説明したという反省もあるので、事前の説明を実施していきたいと思います。
- 質問 20 先程、町田市の新工場は、減量 40%の目標をもってのことだと思うが、達成不可能に思える。達成できなかった場合は、環境組合に持ち込まれるのではないか。多摩清掃工場に余裕があることは地元としても承知しているが、町田市がそれを見通した目標をしているのであれば、安易な数字だと思われる。もしそうなら、環境組合の地元としては納得はできない。
- 回答 20 町田市は、分別の徹底や生ごみのバイオマス化などで 40%減量するという事をお聞きしています。
- 意見 4 目標はそれで良いが、大概、目標などは達成できないのではないかと考えている。

質問 21 年末年始に、昼休みや5時過ぎにも搬入があったようだ。忙しい時期ということはわかるが、通勤・通学などにも影響があるので時間は守ってほしい。

回答 21 基本的には時間を守っているが、極力ないように要請をしていく。

質問 22 尾根幹線ではなく、生活道路を通る搬入車両が見受けられる。

回答 22 生活道路を通るのは違反であるため、生活道路を通らないように指導や注意を行っている。

意見 5 注意や指導だけでなく、事故が起こってからでは遅いので環境組合が定期的に生活道路を通行する車両等を確認をしてほしい。

質問 23 町田市の道路計画で、町田市の小山ヶ丘まで拡幅されているが、その後の計画はどうなっているか。30年前は、清掃工場と福祉センターの間に繋がる予定であったはず。町田市の処理区域拡大に伴う搬入計画もあると思うので、確認してほしい。

回答 23 町田市の道路計画がどうなっているかは把握していません。道路計画は、町田市の道路課と多摩市の道路課で協議しているものと思います。

質問 24 先程、話のあった搬入量と予算の構成市負担金の割合が違うが何故か。当初からの割合で決まっているなら見直す必要があるのではないか。

回答 24 算出方法については、算定数値は毎年変えている。過去1年間の搬入実績及び毎年4月1日の処理区域人口等により負担金を算出しています。また、八王子市については、構成市負担金のほかに拡大区域のごみ処理費も負担して頂いています。

質問 25 公債費の負担についても変動するのか。

回答 25 公債費については建設当時のものである。